

# News Release

## 家庭内で起きる乳幼児の思わぬ事故に注意 ～ 倒れるもの、高温のものは乳幼児の周りから遠ざけて～

NITE ( ナイト ) [ 独立行政法人製品評価技術基盤機構、理事長：辰巳 敬、本所：東京都渋谷区西原 ] は、平成 29 年 2 月 23 日 ( 木 ) に本所ナイトスクエアにおいて、記者説明会を開催します。

1. 乳幼児<sup>1</sup>は成長するに伴い、はいはい、つかまり立ち、ひとり歩きと行動範囲が広がり、家庭内の様々なものに興味を示すようになります。その結果、家具や電気製品を倒す、高温部に触るなどで思わぬ製品事故が発生しています。こうした事故を防ぐために、事故につながる可能性のある家具や電気製品をあらかじめ乳幼児の手の届かないところに遠ざけることが重要です。以下の家庭内で気をつけるポイントも確認し、乳幼児の事故を未然に防ぎましょう。
2. NITE ( ナイト ) が収集した 6 歳までの乳幼児の製品事故のうち、家庭内において乳幼児の行動を伴って発生した事故<sup>2</sup>は、平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に合計 60 件あります。このうち、23%は死亡・重傷事故 ( 死亡 2 件、重傷 12 件 ) となっています。年齢別では 1 歳児の事故が多く ( 16 人 )、また死亡・重傷事故は 3 歳以下で発生しています。
3. 主な事故事例
  - 3歳の男児が、衣類を取ろうと自宅で5段あるたんすの引出を最下段から3段目まで全開にしたところ、たんすのバランスが崩れて転倒し、全身に打撲を負った。  
(平成23年8月、埼玉県、軽傷)
  - 1歳の男児が、炊飯中の電気炊飯器を倒しふたが開いたため、男児に内容物ががっかり、重度のやけどを負った。(平成27年7月、東京都、重傷)
  - 10か月の男児が、保護者が目を離れた際に自宅のウォーターサーバーの温水レバーに触り、熱湯が出て手に重度のやけどを負った。(平成27年5月、鹿児島県、重傷)
  - 11か月の男児が、保護者が目を離れた際に、自宅の加湿機能付セラミックヒーターの蒸気吹き出し口に手を触れ、指にやけどを負った。(平成27年12月、東京都、軽傷)
  - 1歳の男児が、自宅で幼児用おもちゃから部品を取り外し、口にくわえて遊んでいたところ、転倒して口に裂傷を負った。(平成26年5月、東京都、軽傷)
  - 1歳の男児が、自宅で歯ブラシをくわえたまま、父親と追いかけてっこをしていたところ転倒し、歯ブラシの先端で口内を突いてけがを負った。(平成27年12月、三重県、軽傷)
4. 家庭内での乳幼児による製品事故を防止するための気をつけるポイント  
家具や電気製品などで、乳幼児が思わぬ事故を起こす可能性があることを意識する。  
乳幼児が転倒させたり、お湯・蒸気など高温部に触ったりする可能性のある家具・電気製品などは、あらかじめ手の届かないところに遠ざける。  
おもちゃなどを口にくわえたままにさせない。また、乳幼児が飲み込まないように、おもちゃの部品などが外れないことを確認する。  
保護者の方は製品の取扱説明書で、安全な使い方、やってはいけないことを確認する。  
リコール製品を知らずに使い続けていないか確認する。

( 1 ) 1歳未満の子どもを「乳児」、1歳以上6歳以下の子どもを「幼児」と定義。

( 2 ) 平成 29 年 1 月 31 日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

## (1) 記者説明会開催概要



日時：平成 29 年 2 月 23 日（木）  
10:00～（開場 9:00～）

会場：ナイトスクエア

（東京都渋谷区西原 2-49-10 NITE 1 階）

参加を希望される方は、平成 29 年 2 月 22 日（水）18:00 までに、「お問い合わせ先担当者」へご連絡ください。会場準備のために必要ですので、ご協力くださいますようお願いいたします。

[ 電車でお越しの場合 ]

1. 京王新線「幡ヶ谷」駅から徒歩約 10 分
2. 小田急線・東京メトロ千代田線「代々木上原」駅から徒歩約 15 分

## (2) ご説明する内容

平成 23 年度から平成 27 年度までの 5 年間に、家庭内における乳幼児の行動を伴って発生した事故 60 件について、年度別の事故発生状況や、事故事例、事故を防止するためのポイントを、再現映像を交えてご紹介いたします。

また、当日は事故の再現映像を収録した DVD を配布いたします。

## (3) 当日入館時のご注意

NITE 本所（東京都渋谷区西原）では、入館管理システムとして、セキュリティゲートを導入しております。入退館の際は、受付にて発行する入館許可証が必要となりますので、お手順をおかけいたしますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

**入館時**：受付で外来者用入館許可証をお渡ししますので、セキュリティゲートの読み取り部分に گذاして入館してください。

**退館時**：入館許可証を受付に返却してください。

庁舎内では、入館許可証を首からお掛けください

### お問い合わせ先

独立行政法人製品評価技術基盤機構 製品安全センター 所長 嶋津 勝美  
担当者：穴井、田代

- 記者説明会前日（2 月 22 日（水））及び当日（2 月 23 日（木））  
電話：03-3481-6566 FAX：03-3481-1870
- 2 月 21 日（火）まで及び 2 月 24 日（金）以降  
電話：06-6612-2066 FAX：06-6612-1617